

工事監理状況報告書(木造枠組壁工法)

中間検査

平成 年 月 日

(あて先) 建築主事

確認済証番号	平成 年 月 日 第 号	確認機関名
" (変更)	平成 年 月 日 第 号	確認機関名
工事場所	建築主氏名	

上記、工事中の建築物の工事監理状況について、建築基準法第12条第5項の規定により次のとおり報告します。

報告者	工事監理者	会社住所	
		会社名	
		報告者氏名	印

確認事項	確認を行う照合内容	工事監理者 確認結果 1	2 検査員 記録	
			A:目視検査 B:計測検査 C:監理者報告	結果
1 確認表示板 (法89)	1 建築確認表示板の設置	適：不	A	適：不適
2 工事現場の危害の防止 (90条)	1 仮囲い、防護ネット、山留	適：不	A	適：不適
3 敷地の衛生及び安全 (法19)	1 がけ・擁壁の安全性、敷地の衛生及び安全	適：不	A：B：C	適：不適
4 敷地と道路の関係 (法42 43)	1 道路の幅員	適：不	A：B：C	適：不適
	2 道路に接する敷地の長さ	適：不	A：B：C	適：不適
	3 敷地内通路、専用通路の幅及び長さ	適：不	A：B：C	適：不適
	4 2項道路の後退	適：不	A：B：C	適：不適
5 敷地形状、容積率、建ぺい率 (法52～54)	1 敷地形状及び高低差	適：不	A：B：C	適：不適
	2 基礎形状・建物形状	適：不	A：B：C	適：不適
	3 建物配置(道路、隣地からの離れ)	適：不	A：B：C	適：不適
6 斜線制限 (法56)	1 建築確認図書の立面図との照合	適：不	A：B：C	適：不適
	2 道路、隣地、北側敷地境界線からの後退距離の確認	適：不	A：B：C	適：不適
7 基礎・地盤 (令38、告示1347)	1 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法(	適：不	A：B：C	適：不適
	2 地耐力が得られなかった場合の措置について 措置の内容(	適：不	A：B：C	適：不適
	3 基礎種別の確認(連続、べた、独立、杭)	適：不	A：B：C	適：不適
	4 各部材の形状、寸法の確認	適：不	A：B：C	適：不適
	5 配筋の確認(径、間隔、かぶり、継手、定着、貫通補強等)	適：不	A：B：C	適：不適
8 居室の床の高さ及び防湿方法(令22)	1 床の高さ、床下換気口又これに代わる措置	適：不	A：B：C	適：不適
9 主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料(接合材料を含む)	1 木材、コンクリート、鉄筋、屋根材、外壁材、接合金物等の種類・品質・形状・寸法	適：不	A：B：C	適：不適
			A：B：C	適：不適
			A：B：C	適：不適
10 土台(令42)	1 基礎との緊結(アンカーボルトの位置・接合方法)	適：不	A：B：C	適：不適
11 床版(告示1540)	1 根太(床・端・側)の形状・寸法・間隔・転び止め	適：不	A：B：C	適：不適
	2 開口部補強	適：不	A：B：C	適：不適
	3 耐力壁直下の床根太補強	適：不	A：B：C	適：不適
	4 床材の厚さ	適：不	A：B：C	適：不適
	5 各部材相互の緊結	適：不	A：B：C	適：不適
12 耐力壁等(告示1540)	1 耐力壁の配置(壁量計算書との照合)	適：不	A：B：C	適：不適
	2 上、下、たて枠寸法・規格	適：不	A：B：C	適：不適
	3 耐力壁線相互の距離、耐力壁線により囲まれた部分の水平投影面積	適：不	A：B：C	適：不適
	4 外壁の耐力壁線相互の交さる部分	適：不	A：B：C	適：不適
	5 耐力壁のたて枠相互間隔	適：不	A：B：C	適：不適
	6 各耐力壁の隅角部及び交さ部	適：不	A：B：C	適：不適
	7 耐力壁のたて枠と直下の床の枠組みとの緊結	適：不	A：B：C	適：不適

確認事項	確認を行う照合内容	工事監理者 確認結果 1	2 検査員 記録	
			A:目視検査	結果
			B:計測検査 C:監理者報告	
12 耐力壁等(告示1540)	8 頭つなぎ	適:不	A:B:C	適:不適
	9 耐力壁線に設ける開口部の幅等	適:不	A:B:C	適:不適
	10 開口部上部のまぐさ	適:不	A:B:C	適:不適
	11 筋かいの欠込み	適:不	A:B:C	適:不適
	12 各部材相互の緊結	適:不	A:B:C	適:不適
13 根太等の横架材(告示1540)	1 横架材の欠込みが無いこと	適:不	A:B:C	適:不適
14 小屋組等(令46,告示1540)	1 たるき及び天井根太の寸法・規格	適:不	A:B:C	適:不適
	2 たるき相互の間隔	適:不	A:B:C	適:不適
	3 たるきつなぎ	適:不	A:B:C	適:不適
	4 トラス	適:不	A:B:C	適:不適
	5 たるき又はトラスと頭つなぎ及び上枠との緊結	適:不	A:B:C	適:不適
	6 振れ止め	適:不	A:B:C	適:不適
	7 屋根版	適:不	A:B:C	適:不適
	8 屋根下地の寸法・規格	適:不	A:B:C	適:不適
	9 各部材相互の緊結	適:不	A:B:C	適:不適
	10 開口部の幅等	適:不	A:B:C	適:不適
	11 開口部上部のまぐさ	適:不	A:B:C	適:不適
15 防腐防蟻措置(令49)	1 防腐・防蟻措置(土台・柱・筋かい)	適:不	A:B:C	適:不適
16 その他 3		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適
		適:不	A:B:C	適:不適

指示内容	4	

検査に必要な図書	確認関係図書	確認図書 告示第1347号による基礎構造図 床伏せ図、壁伏せ図、屋根伏せ図
	使用材料の品質を示す書類	コンクリート圧縮強度試験結果 コンクリートの品質(スランプ、空気量、塩化物) 鉄筋・鉄骨ミルシート 使用材料品質証明書
	工事監理報告書	基礎配筋検査記録 基礎配筋写真 建て方完了時の検査記録
	5 その他	施工要領書(工事監理者が承認したもの) 工事写真

- 1 確認項目を現場でチェックし、適合は「適」に 印、不適合は「不」に 印を記入して下さい。(該当しない項目は記入しないでください)
- 2 太線枠内は記入しないで下さい。
- 3 確認事項の項目にないものは、「その他」の欄に記入してください。例として、増築等で既存改修がある場合には「その他」に記載します。
- 4 確認結果で不適合がある場合は、その項目番号(例:3-1)と現場で指示した内容を、「指示内容」欄に記入してください。
- 5 検査に必要な図書について、「」の書類は必ず用意し、「」は監理状況が確認できれば、それに代わる書類等でも可とします。